

第1回 こども安全対策分科会会議録	
日 時	平成30年5月31日（木）午前10時30分から11時30分
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	片岡、星野、山下、中丸、大平、澤井、本田、白水、藤森、五十嵐（敬称略） 事務局：根本、久保田、服部
議 題	1 あいさつ 2 議事及び報告 (1) 栄区セーフコミュニティ現地審査当日の流れについて (2) リハーサルの振り返り（プレゼン資料等） (3) 本年度の活動について 3 意見交換 4 その他、情報共有
議 事	<p><議事及び報告></p> <p>(1) 栄区セーフコミュニティ現地審査当日の流れ 事務局から、本日（5/31）のリハーサルを受けて、当日（6/16）のタイムスケジュールや注意点などについて説明した。</p> <p>(2) リハーサルの振り返り リハーサルの振り返りを行い、JISCから、プレゼン資料の中で指摘された事項や追記すべき点などを委員全員で確認し合い、事務局にて修正することを確認した。また、スライドに追加する写真の撮影など委員に協力していただく旨を依頼した。</p> <p>(3) 本年度の活動について 各委員の今年度の活動や分科会の取組に対する意見交換を行った。 （下記の意見交換で集約）</p> <p><意見交換></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認証を取得してから、これまでの5年間、地域の様々な取組のすべてがセーフコミュニティにつながる活動であった。 ・子どもたちの下校時に通学路の点検をすると、人気全くない道も多くある。登下校の時間帯に玄関先に出るだけでもよいので、地域の方に協力してもらえるとよい。 ・中学校は下校が一斉の時間帯にならないため、地域の見守りという点では限界がある。地域イベントにボランティアとして参加し、顔を覚えてもらうことは、地域との接点をつくる上でも大事な活動である。 ・「こども110番の家」は、登録数としては飽和状態にある。今後は認知度をあげたり、活用方法をより効果的な内容にしていくなど、活動の中身を深めていきたい。 ・地域との顔が見える関係づくりは、どの保育園も積極的に行っている。また、保護者にもセーフコミュニティを細かく伝えていきたい。 ・子どものスマホのトラブルは、親の責任でもあるため、保護者への教育も必要である。 ・乳幼児期の事故やけが防止については、保護者への啓発も重要であるが、子どもが、自分の身を自分で守るという意識をもつことも大切である。遊具で遊ぶ経験をきちんとさせることで、今の自分にできる身体の動き、ここまでやるとけがをすることもかもしれないという認識を身につけることができる。
資 料	1 委員名簿 2 現地審査当日の流れについて（通知） 3 プレゼンテーション資料

第2回 こども安全対策分科会会議録	
日 時	平成31年2月21日(木) 14時～15時
開催場所	栄区役所本館3階3号会議室
出席者	片岡、山下、大平、澤井、本田(敬称略) 事務局:根本、久保田、服部
議 題	1 あいさつ 2 議事及び報告 (1) セーブ・キッズ・フォーラム「KYTセミナー」の実施報告 (2) 今後の取組について (3) 意見交換 (4) その他(情報交換など)
議 事	<p><議事及び報告></p> <p>(1) セーブ・キッズ・フォーラム「KYTセミナー」の実施報告 資料をもとに事務局から報告をした。今後、参加者が自身の活動団体や各家庭でこのKYTを広めていただき、誰もが気軽にKYTに取り組める機会が増えるとよい。</p> <p>(2) 今後の取組について(意見交換を含む) 事務局から、31年度はKYT教材を保育園(年長クラス)にも配布し、取組を広げていく予定であることを説明した。その他、こども安全対策分科会としての活動や取組に向けた意見を伺った。</p> <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・KYTは、子育て中の親にとっても有効であり、子どもと一緒に何度も繰り返し学ぶことが大事である。 ・幼児はゲーム的な要素や考えることが好きであるため、KYTの手法は幼児向きである。 ・4月に実施する小1スタートカリキュラムの中で、保育園とは異なる小学校の大きな校舎を巡りながら、危険ポイントを見つけていく体験などはKYTの発想と同じである。(小学校には大きな鉄製の扉もある) ・保育園の年長クラスで小学校入学に向けて10月から行うアプローチ・カリキュラムと、小学校入学後に小1が行うスタートカリキュラムのように、子どもの育ちを保育園から小学校につなげていく取組はとても重要である。「幼保小連携推進地区」は、そのような連携を積極的に図る絶好の機会であり、セーフコミュニティの観点からも、KYTの取組をこのカリキュラムに組み込んで継続して実施していくことが効果的かつ望ましい形ではないかと思う。保育園と小学校に同じKYTの教材があれば、1年生も親しみをもって学んでくれると思う。 ・小学生と一言と言っても、1年生から6年生までいる。ついこの間まで園児だった1年生を、スタートカリキュラムを通じて保育園の先生がフォローしてくれるのはとても心強い。 ・保育園(幼稚園)から小学校、小学校から中学校になった途端に、子どもたちの成長がリセットしてしまう(と思い込む)傾向にある。子どもたちが6年間どのように成長してきたか、最高学年として、リーダーとしてやってきたことを自覚させることは、さらなる育ちにつながる。 ・こども安全対策分科会ののぼり旗を作成し、活動をPRしてもよい。 ・子どもたちがもっと地域の活動に参加する機会があるとよい。 ・社会全体が危険に対する意識が低すぎる傾向がある。自分の言動がどのような結果につながるのかわかっていない(「想像力の欠如」)。それは安全にも関わってくる問題である。 ・幼児の外遊びが少なくなっていることで、自分の身体の動きを知ることに対して経験不足(身体のバランスなど)である。親も室内遊びの親子行事には積極的に参加するなど、楽な方に流れてしまうことが多い。 ・インフラ整備も大事である。公園でもボール遊びが禁止であったり、安心してボール遊びをできる場所が近くにない。
資 料	1 委員名簿 2 セーブ・キッズ・フォーラム「KYTセミナー」の実施報告

第1回 スポーツ安全対策分科会 会議録	
日 時	平成30年5月22日（火）午後7時から
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	委員：清水、小島、矢合、安本、松村、大塚、末村、磯川、石川 栄区役所（地域振興課）：早乙女、宍戸、山口 アドバイザー（横浜市スポーツ医科学センター）：鈴木 （欠席者：白川、片岡、西村）
議 題	1 座長の選出について 2 現地審査当日の流れについて 3 審査資料について 4 平成29年度実施のアンケート結果について 5 平成30年度分科会企画講習会について
議 事	1 座長の選出について 互選により、栄区体育協会の清水正美会長が座長として選出された。 2 現地審査当日の流れについて 事務局から、6月15日から17日までの現地審査について説明があった。スポーツ安全対策分科会は16日に発表を行うことを確認した。 3 審査資料について 事務局から審査資料について説明があった。 4 平成29年度実施のアンケート結果について 事務局から昨年度行ったアンケートの集計結果について説明があった。本集計結果については、今後の取組に活用することを確認した。 5 平成30年度分科会企画講習会について 今年度の分科会企画講習会について検討を行った。 【主な意見】 ・座学だけでなく実技を交えた講習が望ましい。 ・アンケート結果から、けがの多い部位や種類にフォーカスした内容が良い ・若い年代の指導者に向けた内容が良い。 ・食事にも言及した内容が良い。 以上を踏まえ、アドバイザーの鈴木氏が内容を検討し提案することになった。 また、開催日時については次のとおり決定した。 日時：平成30年9月9日（日）午前10時から正午12時まで
次回予定	第2回スポーツ安全対策分科会の開催日程を決定した。 日時：平成31年2月20日（水）午後7時から 場所：栄区役所4階2号会議室
資 料	別冊資料：各団体事業報告及び事業計画について

第2回 スポーツ安全対策分科会 会議録	
日 時	平成31年3月5日(火) 午後7時から
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	委員：清水、小島、白川、矢合、松村、大塚、末村、三浦、石川 栄区役所(地域振興課)：早乙女、宍戸、山口 (欠席者：安本、磯川、片岡)
議 題	1 (報告) 平成30年度の分科会企画講習会について 2 (報告) セーフコミュニティ再認証取得について 3 分科会だよりの発行について 4 平成31年度の取組について 5 スポーツ活動時に発生した事故・けがに関するアンケートについて 6 平成31年度の分科会企画講習会について
議 事	<p>1 (報告) 平成30年度の分科会企画講習会について 事務局から、平成30年9月9日(日)に実施したスポーツ安全対策分科会企画講習会「スポーツ活動中の足首捻挫の原因と予防方法について」の開催報告があった。参加者のアンケート結果の中で、「参考になった」「実技の講習が良かった」という意見があった一方で、「後ろの方が見にくかった」「人が多くて動きにくかった」などの意見もあった。</p> <p>2 (報告) セーフコミュニティ再認証取得について 事務局から、セーフコミュニティ再認証取得について報告があった。6月15日から17日に行われた現地審査では、16日に清水座長がスポーツ安全対策分科会の発表を行った。審査員からウォーキングについて良い評価を受け、特に、根拠に基づく取組であることについて全体講評の中でも触れられた。また、10月6日(土)には再認証取得の式典が行われ、正式にセーフコミュニティの再認証を受けた。</p> <p>3 分科会だよりの発行について 事務局から、「スポーツ安全対策分科会だより第7号」の案が示され、了承された。また、配布先については、昨年と同様、各団体と各施設等に、計2,600部を配布、配架することになった。</p> <p>4 平成31年度の取組について 平成31年度の取組として、分科会委員から意見を出し合い、今後事務局でまとめることになった。 【分科会委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体に協力をしてもらい、まとまった人数に対して取組を5年間継続して、データをとれると良い。 ・自身が肉離れをした経験から、講習会等で、特定のけがについて、専門家の知識や予防方法が広く区民に伝わるような取組をしていけると良い。 ・スポーツごとに準備運動の方法が違うと思われるので、一つの方法を勧めるのは難しいが、準備運動の推進は引き続き取り組んでいく方が良い。また、ウォーキング中の姿勢が悪い人が多いので、繰り返し講習会で周知できると良い。 ・昨年度に行ったウォーキング講習会では、正しいフォームに衝撃を受

けた。1回だけでなく、繰り返し同じ講習会を受けたい。大人だけでなく、こどものときから正しいフォームで歩くことを身に付けさせることも良いと思う。

- ・こどもたちの体力や筋力向上を勧めていくのはどうか。スポーツごとに準備運動の方法も違うため、基礎力を向上させた方が、スポーツ全般のけが予防につながるのではないかと思う。
- ・自分は道路清掃を呼びかけていて、全身の運動となるとともに、町も綺麗になり、スリップ事故の予防にもつながるので、ウォーキングよりも、普段の活動の中でけが予防ができると思う。また、公園の使い方もけが予防には大切で、誰が指導していくかということも考えられると良い。
- ・多かったけがのアンケート結果について、年代別で見ると結果が違うように思う。また、パラスポーツにも目を向けるなど、分科会として、どのような年代やスポーツの種類を対象にするのか考えたい。

5 スポーツ活動中に発生した事故・けがに関するアンケートについて

平成31年度の1年間に発生した事故やけがについてアンケートを取り、データを積み重ねていくことになった。アンケートは、前回平成29年度に行ったものと同じ設問で、平成31年度の分科会構成団体のスポーツ活動中に起きたけがが対象となる。

6 平成31年度の分科会企画講習会について

事務局から、区体協が主催するスポーツフェスティバルや、市体協が主催するスポーツレクリエーションフェスティバルの際に、企画講習会を実施することになった。詳細については来年度検討することになった。

平成30年度 第1回 交通安全対策分科会会議録

日 時	平成30年4月19日(木) 午前10時30分から
開催場所	栄区役所本館3階 3号会議室
出席者	<p>委員：森、山田(正)、関、山田(龍)、田中、佐々木、平間、駒田、九十九澤 高橋、三浦(敬称略)</p> <p>事務局：早乙女、石塚、塚田、樋下田</p>
議 事	<p>1 活動報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本郷台駅前自転車等放置防止キャンペーン(主催:本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 平成30年3月23日(金) 午前6時30分から午前9時 本郷台駅周辺放置禁止区域内 ・交通安全三世代交流大会(主催:栄交通安全母の会連絡会) 平成30年3月29日(木) 午後2時から午後4時 栄区役所新館4階8. 9号会議室 ・春の交通安全フェスティバル(主催:栄区交通安全対策協議会) 平成30年4月7日(土) 午前10時から午前11時 本郷小学校グラウンド ・「交通事故死ゼロを目指す日」啓発キャンペーン(主催:栄区交通安全対策分科会) 平成30年4月10日(火) 午前10時から午前11時 環状4号線公田交差点 ・事務局が作成した平成29年度イベント等の実施・結果一覧を基に、昨年度の振り返りや意見交換を行った。 <p>2 活動計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナーアップ強化月間キャンペーン(主催:栄区交通安全対策協議会) 平成30年5月10日(木) 午前10時から午前11時 地球市民プラザ前交差点 ・二輪車交通事故防止強化月間・暴走族追放強化月間街頭キャンペーン (主催:栄区交通安全対策協議会) 平成30年6月1日(金) 午前10時から午前11時 本郷台駅前広場 ・本郷台駅自転車等放置防止キャンペーン(主催:本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 平成30年6月、9月、11月、3月の各月1回実施 本郷台駅周辺放置禁止区域内 ・夏の交通事故防止キャンペーン(主催:栄区交通安全対策協議会) 平成30年7月12日(木) 午後4時から午後5時 大船駅笠間口 ・「はたらくるまだいしゅうごう」への協力(主催:栄安全運転管理者会) 平成30年7月16日(月・祝日) 午前10時から正午 本郷台駅前広場 ・各期(期間)の交通安全運動・強化月間の交通安全運動・地域の交通安全に関する取組について、各イベント・啓発・キャンペーンを主催する委員から、実施内容や日時・場所等の説明があり、内容の確認や意見交換を行った。 <p>3 本審査に向けた発表資料とスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、本審査で発表する資料について、スライド2を修正したことや、スライド9・19を追加したこと、その他データの更新を行ったと説明があり、内容を確認した。発表については、事前指導同様に森座長が行うことで一致した。 ・本審査に向けて5月30日にリハーサルを行うことや、6月16日14時から当分科会の本審査があることで、確認した。

	<p>4 平成29年度 スクールゾーン対策協議会の対応状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が作成したスクールゾーン対策協議会要望件数一覧について説明があり、確認を行った。 ・要望に対して、路面標示の補修や道路に出てしまっている樹木については、ほとんどが改善できたことを確認した。 ・改善できなかった箇所については、物理的・法的に改善できない箇所や、小学生への日々教育による改善効果が高いと考えられる箇所等があったことについて確認し、今後もより安全な登下校ができるように、皆で検討していくことでも了承した。 <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発物品（回覧板・ヘルメットチラシ）について確認をした。 ・次回の交通安全対策分科会を、平成30年9月5日に行うことが決定した。
<p>資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 栄区交通安全対策分科会報告案件及び議事案件の概要 2 平成29年度交通安全イベント実施・結果一覧 3 平成29年度実施結果の概要・記録写真 4 本審査パワーポイント発表資料 5 セーフコミュニティ本審査当日スケジュール 6 平成29年度スクールゾーン対策協議会要望件数一覧 7 全14校からの要望・対応一覧

議 事 録

会議名 : 栄区交通安全対策協議会 9月 幹事会
日 時 : 平成30年 9月 5日 (水曜日) 10時00分～11時10分
場 所 : 栄区役所 本館3階 第5号会議室
出欠者 : ○出席 : 16名 ※添付参照 幹事会座席表
事務局 : (栄区地域振興課)・早乙女課長、石塚係長、江川、塚田
×欠席 : 2名・近藤課長 (警察)、駒田氏 (警察)

◆概要

**【結果】 報告案件を確認、議事案件を承認した。次回11月16日(金)を予定した。
なお、母の会連絡会主催の十五夜キャンペーンの開催日を20日に変更。**

◆進行 (進行役 : 石塚係長)

- ①-早乙女課長から挨拶 ②-新幹事の輿石氏から挨拶
- ③-以下、議題内容を石塚係長の司会、説明。(詳細は、塚田が説明)

議題

(1) 報告案件

- ア 自転車マナーアップ強化月間に伴う街頭キャンペーン
- イ 二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間街頭キャンペーン
- ウ 夏の交通事故防止キャンペーン
- エ 関係運動の協力
 - 本郷台駅前 自転車等放置防止キャンペーン
 - はたらくくるま だいしゅうごうへ**以上、確認した。**(・主催者 : ご協力に感謝します。来年も協力をお願いしたい。)

(2) 議事案件

- 1 **秋の交通安全運動キャンペーン開催内容について (バンド演奏なし)・・・承認。**
(意見)・田中幹事 : バンド演奏を調整したが、短期の準備は難しく断念。冬の催事を検討か。
・塚田 : 年末の運動など今後の対応で、関係者と調整して行きたい。資料修正します。
- 2 **交通事故死ゼロを目指す日キャンペーンについて承認。**
(意見)・森幹事 : 資料ミス、笠間交差点を公田交差点に修正を。
・塚田 : 修正します。
- 3 **違法駐車及び放置自転車・バイククリーンキャンペーンについて承認。**
(意見)・事務局 : それぞれ参加人数を幹事から、聞き、昨年と同様に実施予定とする。
・西川幹事 : 地図を添付してください。配布チラシも禁止区域など示したらどうか。
銀行前の歩道など自転車駐輪が必要だ。禁止区域の緩和の考えは?
・事務局 : 地図を配ります。配布チラシも検討して準備します。禁止区域の緩和は、通行上の支障や近隣の方々などの合意は難しく、困難です。大船駅前には再開発事業完了時に道路変更に応じて、禁止区域を変更します。

4 関係運動の協力について

交通安全十五夜キャンペーンについて・・・確認した。

(意見) ・田中幹事・母の会会長：梨の配布は、高価になり断念、反射材に変更。
実施日も20日の木曜に変更。ご理解願いたい。

5 11月以降の運動予定日について・・・資料のとおり、確認した。

6 その他・・・各種予定を確認した。

◎次回幹事会を決定→ 11月 16日(金曜日) 10時～12時、栄区役所 5号会議室

.....

※幹事会終了後、**「セーフコミュニティ推進協議会 交通安全分科会」**を実施。

10:40～11:00

・添付資料参照

・以下の内容を確認した。

1 活動報告について

2 活動計画について

3 再認証の本審査結果について

4 再認証の式典について・・・添付資料のとおり

5 栄区内の交通事故発生状況について・・・事故159件、負傷者196件、高齢者やバイクが多い

6 平成30年土スクールゾーン対策協議会の状況について

次回：11月16日・幹事会終了後に開催。.....以上

議 事 録

【栄区交通安全対策協議会・事務局作成】

会議名 : 栄区交通安全対策協議会・11月の幹事会
日 時 : 平成30年 11月 16日 (金曜日) 10時～11時00分
場 所 : 栄区役所 本館3階 第5会議室
出欠者 : ○出席 : (敬称省略) 添付名簿参照。13名。(事務局: 早乙女、石塚、江川、塚田)
×欠席者: (敬称省略) 西川、九十九澤、平間、駒田、江川 5名
.....

◆概要 【結果】 ※添付資料を参照

- 出欠の確認、資料の確認。(上記参照: 出席、欠席)
- 挨拶: 途中出席にて・早乙女課長 (区民祭りのお礼など)

議 題

○報告案件 (石塚係長から説明)

- 1 本郷台駅自転車等放置防止キャンペーンの実施結果: 確認した。
- 2 秋の交通安全フェスティバル」の実施結果: 確認した。
- 3 交通事故死ゼロを目指す日キャンペーンの実施結果: 確認した。
- 4 違法駐車・放置自転車・バイククリーンキャンペーンの実施結果: 確認した。

○議事案件 (石塚係長、塚田から説明)

- 1 年末の交通事故防止街頭キャンペーン: 提示案にて承認。
 - ・詳細は、事務局で安協、警察などと今後、詰めて行く事を確認。
 - ・安協は、大根絶キャンペーン終了後に集合し、準備作業対応を予定。
- 2 栄区交通安全功労者(団体)表彰要綱に基づく、候補者推薦: 提示案を承認した。
 - ・表彰式は、5月下旬の総会時に行うなど、確認した。
- 3 30年度 春の全国交通安全運動・交通安全フェスティバル企画: 検討案を基本合意。
 - ・日時を決定後、地域連合町内会長や場所の桂台小へ調整に入る旨、確認した。
 - ・詳細は、関係者で詰めて行く旨を確認した。
(日時: 選挙日調整のため、5月11日 土曜とする。)
(場所: 本郷中央連合地区の桂台小を調整して行く。)
(内容: スケアード実施を事務局で進めて行く。)
- 4 その他
 - (1) 交通安全クリスマスキャンペーン: 田中会長説明。協議会として協力を確認。
 - (2) 今後の予定 (12月14日: 大根絶キャンペーン。1月10日: 新年交通ミニ凧キャンペーン。2月1日: 節分キャンペーン。) 詳細は、今後詰めて行く。

◆次回開催: 2月1日(金) 10時～12時 新館 7号会議室を予定した。 以上

※終了後、栄区セーフコミュニティ推進協議会 交通安全対策分科会を進行。(次頁記載を参照)

.....

栄区セーフコミュニティ推進協議会 交通安全対策分科会

※添付資料参照

- 1 活動報告、2 活動計画 は、交対協の幹事会資料のとおり。
- 3 栄区で発生した事故について（添付資料参照）

○事故発生状況（交通課長から報告）：

- ・今日の参考資料で栄区は事故が+2件。しかし、昨日時点ではマイナスの状況。
- ・最近の事故を概説：①11月11日、本郷石橋バス停付近でバイク事故。②小菅ヶ谷の事故
- ・死亡事故が多くなっている。+13名増加。反射材やハイビーム切り替えなど工夫を。
- ・12月は事故が増加するので、気を付けて対応してほしい。

4 その他

- 事務局石塚係長から「交通安全協会の11号冊子に記事を照会：栄区、田中貞代会長が、警察本部長・地域交通安全活動推進委員協議会連絡協議会会長連盟表彰を受賞。
おめでとうございます。

【主な意見交換】

- 田中幹事：先日の集まりで、青葉区委員から自転車走行ルールの話があった。
30代以降の母親などは、知らない人が多い。知る機会を作っていきたい。
- 輿石幹事：先日の講習会で、取締か？安全教育か？ 大事なことは？ との話あり。
やはり30代以降の人は自転車の乗り方教室を受けてなく、知らない人が多い。
- 関 幹事：安協で「はまっ子安全教室」を実施しているが、この際、学校側が呼びかけて、
父母が見学する事も良い機会と思う。
- 近藤課長：色々な機会周知する事は、大事。
- 田中幹事：笠間小学校オープンスクールで自転車交通安全教室を実施し、良かった。
- 石塚係長：多様な機会周知願いたい。この際に配布するチラシ、冊子は区で用意できるので、相談してほしい。よろしくお願いします。

以上

.....

議 事 録

会議名 : 栄区交通安全対策協議会・幹事会
日 時 : 平成31年 2月 1日 (金曜日) 10時00分～10時45分
場 所 : 栄区役所 新館4階 7号会議室
出欠者 : ○出席：幹事名簿参照 (欠席：① 佐々木幹事、② 駒田氏)
事務局：(栄区地域振興課)・石塚係長・塚田

.....

◆概要 【結果】 ※添付資料を参照

○報告：昨日、「神奈川県交通安全対策協議会・総会の際に表彰式あり、事故死0の成果で「栄区交通安全対策協議会が受賞」したことを、表彰状を見せながら、報告。当日配付されたチラシを配付。

議題 (※敬称省略)

○報告案件 (石塚係長から説明)・・・以下について確認した。

- 1 交通安全 クリスマスキャンペーンについて
- 2 飲酒運転 大根 絶キャンペーンについて
- 3 年末の交通事故防止運動(飲酒運転根絶強化月間)街頭キャンペーンについて
- 4 新年交通ミニ凧キャンペーンについて
- 5 栄区交通安全功労者(団体)表彰要綱に基づく、功労者推薦について

○議事案件 (資料に基づき、石塚係長と塚田から説明)・・・以下の議案を決定した。

1 「交通事故死ゼロを目指す日」啓発キャンペーンについて・・・決定。

【意見】・・・特になし。

◆日時： 4月10日 (火) 10時～11時 10分前に集合。

◆場所： 環状4号線 公田交差点

◆内容： ※「本日は交通事故死ゼロを目指す日」の看板掲出し、例年通り実施。

2 「春の全国交通安全運動に伴うキャンペーン」の検討について・・・順次、決定。

◇日時、場所は確定し、今後、事務局で関係者と詳細を詰めて、進める。

内容は、4月幹事会で報告し、確定して行く。

◇スケアードストレート委託を進めている。 【意見】・特になし。

3 関係団体の開催キャンペーン等への協力について・・・協力を決定。

- (1) 節分キャンペーン：田中会長から、「よろしく参加願います」との事。
- (2) 自転車等放置防止キャンペーン：後日、日時は決定する。
- (3) 三世代交流大会：・田中会長から、諸般の事情で「保留にします」「後日、延期か、中止か、実施か、決めたい」との事。
・塚田：決定後、ご連絡頂ければ、幹事へ報告します。

4 その他： 特になし。

○次回・幹事会：4月18日 (木) 10時～、を予定した。(場所は、調整して後日連絡を予定)

○総会の予定：5月21日 (火) 13：30～、8、9号会議室を予定。 以上

.....
(幹事会終了後) 「セーフコミュニティ推進協議会 交通安全分科会」を開催

→資料(石塚係長から説明)の報告等を、全員で確認した。

1. 活動報告について、2. 活動計画について・・・幹事会の報告、議案と同じ。

3. 交通事故状況について・・・栄警察署 平間係長：資料に基づき、交通事故状況を説明。

4. 啓発物品の作成について・・・石塚係長が説明し、確認した。

・塚田：啓発物品を購入した。母の会連絡会へ活用する旨、渡しましたほか、イベント時に活用して行きたい。

・石塚係長：要望があれば、検討し購入して行きます。

●添付した資料説明：森克己氏と本郷小学校が国の表彰を受賞した旨、報告した。(石塚係長)

5. その他

◇関幹事：安協でランドセルカバーを安管と一緒に購入し、小学校へ配付しているが、予算上厳しい状況あり、他の区のように、補助してほしい。

◇石塚係長：課長が欠席で決められないが、来年度に予算要求を検討して行きたい。

◇森幹事：小学校では、カバー配付が当たり前の意識だ。袋詰めに苦勞するし、持参すると、「あっちへ持って行け」と学校の態度に不満。協会に取りに来てもらおうと検討している。

◇石塚係長：校長会と一緒に出席し、説明したらどうか。取りに来てもらう事も良いと思う。

以上

※塚田から「3月31日で、退職します。色々とお世話になりました」と伝えた。

平成 30 年度 第 1 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊定例会 議事録

平成 30 年 4 月 24 日 15:30～

・出席者

主任児童委員：宮崎・北野

にこりんく：五十嵐

こども家庭支援課：角谷係長・佐藤・湯浅・加藤 CW・(佐藤課長)

社協：欠席

1 新メンバー確認

上記メンバー確認

2 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

3 平成 30 年度活動について

(1) 「さかえっ子の笑顔ひろげ隊」活動周知

- ・各イベントなどでの周知継続
- ・区民まつり（11 月 3 日）での啓発も継続
- ・啓発グッズについては検討中

(2) 赤ちゃんふれあい体験について

夏休みの地域育児教室への参加募集

⇒リエゾン以外の会場で募集を行う。

- ・5 月の中学校長会で周知
- ・6 月 5 日のこ家・SC・SSW 連絡会で専任教諭に説明
- ・6 月の主任児童委員連絡会（6 月 18 日）でチラシを渡し、各主任児童委員の学校訪問の際に中学校に届けていただく。
※参加者には表彰状、参加賞もあることを伝える。

(3) いのちの授業

- ・西本郷中学校（昨年度から継続）
活動報告チラシ⇒5 月校長会、6 月専任会で報告する。（チラシ修正）
- ・桂台中学校（5 月初旬に決定する予定）
⇒結果分かり次第、方法の検討へ

(4) 栄区民生委員児童委員協議会での啓発

- ・各地区の定例会に参加⇒10 月～11 月くらいで実施

4 その他

5 次回の日程

7 月 25 日(水) 15:30～

平成 30 年度 第 2 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 議事録

平成 30 年 7 月 25 日 15:30～

1 前回事務局打ち合わせの確認

2 啓発活動について

日時	内容	場所	配布数
6 月 22 日、 日	孫育て講座	にこりんく	5 0
6 月 28 日	児童虐待防止連絡会	区役所	
7 月 2 日	上郷東地区 勉強会		1 2
8 月 10 日	赤ちゃんふれあい体験 (豊田)	豊田ケアプラザ	1 0
8 月 10 日	赤ちゃんふれあい体験 (区役所)	区役所	8
8 月 17 日	赤ちゃんふれあい体験 (小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラザ	
8 月 22 日	赤ちゃんふれあい体験 (笠間)	笠間ケアプラザ	
9 月 1 日	ステーションまつり		
11 月 3 日	区民祭り	本郷中学校	
11 月 5 日～9 日	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	
12 月 1 日	虹のふれあいコンサート	にこりんく	

3 「あかちゃんふれあい体験」参加申し込み状況

*小山台中学校:11名、飯島中学校:2名

8 / 1 0 豊田地域ケアプラザ 2 (歯科の話:光武) にこりんく 五十嵐
 8 / 1 0 栄区役所 5 (子育て支援者:田中、堀越) にこりんく 古川
 8 / 1 7 小菅ヶ谷地域ケアプラザ 4 (子育て支援者:堀越) にこりんく 五十嵐
 8 / 2 2 笠間地域ケアプラザ 2 (消防士・田中) にこりんく 古川

- ・小山台中学校からの参加が増えたのは昨年度、1年生が産休に入る先生がいて、授業で心音を聞いたり、いのちの授業を行ったのでその成果でもあるのではないかと。
- ・西本郷中学校から参加者がいなかったのは残念である。
- ・参加希望の回収方法について:事前に主任児童委員さんと回収方法を確認しておけば良かった。(学校から区へ直接もらうようにしていたが、主任児童委員が回収に行くのか、はっきり伝えていなかったで迷ってしまった)
⇒学校から渡してもらうでよいか。
- ・申し込みの記入部分を提出しているが上の部分は持っているのか?
⇒参加確認と集合時間お知らせのため全員に電話をするので、そこで必要事項を確認する。

(会場、日程確認、集合時間 9 : 40、動きやすい服装でくこと、暑さに気を付けること)

- ・学校へチラシを届けてもらう時に、事前電話はしているが依頼文を一枚つけたほうが、初めての校長先生もいるのでよいのではないか。

3 今後の活動について

- ・いのちの授業：学校がイメージをつけやすくするためにメニュー表のようなものを作成してはどうか。
- ・項目、内容、必要時間等わかりやすく提示できるものがあったほうが、学校も考えやすいのではないか。

⇒次回までに、案を作成し検討を行う。

4 その他

- ・ 7月28日：本郷中央地区 地区民児協定例会からの研修依頼があった。
他の地区についても今後、昨年同様訪問したいと考えている。(10月～11月)
- * 8月20日の主任児童委員定例会で昨年の西本郷中の実施結果のチラシを渡す。

5 次回日程

9月11日(火) 15:30～

平成30年度 第3回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 議事録

平成30年9月11日 15:30～

1 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

日時	内容	場所	配布数
6月22日、9月 日	孫育て講座	にこりんく	50
6月28日	児童虐待防止連絡会	区役所	30
7月 2日	上郷東地区 勉強会		12
7月28日	本郷中央地区 研修会	桂台ケアプラザ	
8月10日	赤ちゃんふれあい体験(豊田)	豊田ケアプラザ	10
8月10日	赤ちゃんふれあい体験(区役所)	区役所	8
8月17日	赤ちゃんふれあい体験(小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラザ	14
8月22日	赤ちゃんふれあい体験(笠間)	笠間ケアプラザ	18
9月1日	ステーションまつり		325
11月3日	区民祭り	本郷中学校	(500)
11月5日～9日	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	
12月1日	虹のふれあいコンサート	にこりんく	

2 「あかちゃんふれあい体験」実施結果

*小山台中学校:11名、飯島中学校:2名

- 8/10 豊田地域ケアプラザ 2 (飯島中学校)
- 8/10 栄区役所 5 (小山台中学校)
- 8/17 小菅ヶ谷地域ケアプラザ 4 (小山台中学校)
- 8/22 笠間地域ケアプラザ 2 (小山台中学校)

*西本郷中学校から参加がなかったのは、申し込みの仕方がわからなかったのではないかと。

*他に地域の取り組みとして、本郷第3地区はモーリーズ(子育てサロン)で小学生の目を設けている。年間通して予定を組み、祝日、夏休みに設定し、年間5回すべてに出席できることが条件としており、事前に講習を受けて遊び相手になってもらう、という事を行っている。地域の既存の物に来てもらう事も大切ではないかと。

・フレンズで地域情報を配布しても、お祭りやイベントへの申し込みは多いが、日常の催しには申し込みが少ない。ボランティアも申し込みが少ない状況がある。

3 今後の活動について

・いのちの授業、メニュー表について

→訂正途中でも9月18日に主任児童委員と専任教諭との会議があるので一旦、配布する。

メニュー表の他に昨年度実施した西本郷中学校で実施したバージョンのタイムスケジュールを作成し、具体的に内容がイメージできるものを作成する。

学校に対して提案できるような形のもので作成できたらよいのではないかと。また将来的には栄区のすべての中学校で実施したいと考えているという区の方角性も伝える。

・子育て支援拠点と中学校の家庭科の先生の情報共有の機会があった。そこからの授業の展開が上げられるかもしれない。

4 その他

・区民まつりで虐待啓発と一緒に配布したいチラシなどあれば 10月26日までに子ども家庭支援担当まで

☆区民まつり当日の従事者

にこりんく（五十嵐、古川）、主任児童委員 宮崎さん、区(佐藤、角谷係長)

・配布場所については、今年度セーフコミュニティブースが校庭ではなく、体育館になるため他に良い場所があるか区民まつり事務局と確認を行う。

・虐待防止研修会について（H31年2月14日予定）

・

5 次回日程

11月20日（火） 15：30～

平成 30 年度 第 4 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 議事録

平成 30 年 11 月 20 日 15:30～

1 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

2 啓発活動について

日時	内容	場所	配布数
6 月 22 日 9 月 14 日	孫育て講座	にこりんく	5 0
6 月 28 日	児童虐待防止連絡会	区役所	3 0
7 月 2 日	上郷東地区 勉強会		1 2
7 月 28 日	本郷中央地区民児協定例会	桂台ケアプラザ	
8 月 10 日	赤ちゃんふれあい体験 (豊田)	豊田ケアプラザ	1 0
8 月 10 日	赤ちゃんふれあい体験 (区役所)	区役所	8
8 月 17 日	赤ちゃんふれあい体験 (小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラザ	1 4
8 月 22 日	赤ちゃんふれあい体験 (笠間)	笠間ケアプラザ	1 8
9 月 1 日	ステーションまつり		3 2 5
10 月 27 日	上郷西地区民児協定例会	野七里ケアプラザ	
11 月 3 日	区民祭り	本郷中学校	5 0 0
11 月 5 日～9 日	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	1 0 0
12 月 1 日	虹のふれあいコンサート	にこりんく	4 0 0

3 区民まつりでの啓発について

- ・配布場所が良かったので、多くの人に配布できた。(出入口に近かった)
- ・何度もバックをもらいに来ていた人がいた。(確認が難しい)

4 今後の活動について

(1) いのちの授業：

(スタッフ数)

区 保健師 1、助産師 1、雇用助産師 2～3、アルバイト看護職 1、係長
にこりんく

主任児童委員 2+α⇒11 月 30 日に主任児童委員会。そこで参加人数確認。

*開始前の準備とグループに入り中学生とママのつなぎ役

*協力に来てくれるママとベビー対応

◇PTA の協力について (西本郷中学校)

協力者が少なければ、PTA に協力を依頼してはどうかという提案があった。

⇒スタッフ数としては足りていると思われる。

まずは見学からでもよいのではないかと。⇒学校に要相談。

(ふれあい体験協力者親子の参加募集チラシ配布、PR)

- ・ 11月30日の主任児童委員会で募集の協力依頼。
- ・ 12月のこんにちは赤ちゃん訪問員連絡会でもチラシを配布し、協力を仰ぐ。
- ・ 育児教室、にこりんくでチラシ配布。
- ・ 桂台中学校は桂台保育園のサロン等でチラシの配布。

(当日の流れ、内容) ⇒ (別紙各学校(案)参照)

- ・ 協力者、生徒にアンケート実施したい。

★桂台中学校⇒12月4日 打ち合わせ。

- ・ 4クラスごとを希望。(1クラス27名)
- ・ 交流8時50分開始に赤ちゃんつれては早すぎるか?時間の調整可能か学校と協議。

5 その他

6 次回日程

平成31年1月30日(水) 15:30～

平成 30 年度 第 5 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 議事録

平成 31 年 1 月 30 日 15:30～

1 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

2 啓発活動について

日時	内容	場所	配布数
6 月 22 日 9 月 14 日	孫育て講座	にこりんく	5 0
6 月 28 日	児童虐待防止連絡会	区役所	3 0
7 月 2 日	上郷東地区 勉強会		1 2
7 月 28 日	本郷中央地区民児協定例会	桂台ケアプラザ	3 2
8 月 10 日	赤ちゃんふれあい体験 (豊田)	豊田ケアプラザ	1 0
8 月 10 日	赤ちゃんふれあい体験 (区役所)	区役所	8
8 月 17 日	赤ちゃんふれあい体験 (小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラザ	1 4
8 月 22 日	赤ちゃんふれあい体験 (笠間)	笠間ケアプラザ	1 8
9 月 1 日	ステーションまつり		3 2 5
10 月 27 日	上郷西地区民児協定例会	野七里ケアプラザ	1 6
11 月 3 日	区民祭り	本郷中学校	5 0 0
11 月 5 日～9 日	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	1 0 0
12 月 1 日	虹のふれあいコンサート	にこりんく	4 0 0
12 月 9 日	本郷第 3 地区子育て関連分科会	桜井小学校	6 0
12 月 22 日	上郷東地区民児協定例会	庄戸コミュニティハウス	1 9

3 いのちの授業について

①「西本郷中学校」2月26日(火)AM

*赤ちゃんふれあい

親子⇒21組+α⇒ルピナスでも声かけしていく。人数が増える分にはOK。

*当日スタッフ

区：角谷係長・佐藤・小野・田中 他調整中。

主任児童委員：青さん、勝島さん、宮崎さん、北野さん、田野井さん、乙川さん、
北野さん

にこりんく：五十嵐さん、古川さん、清宮さん

雇用助産師：重原さん、吉田さん

*流れ・役割

詳細別資料参照

ふれあい交流：10グループ（1グループ8人前後）

1グループに1～2名の親子。スタッフ1～2名。

②「桂台中学校」3月7日（木）AM

*赤ちゃんふれあい

親子⇒12組⇒人数を増やす必要あり。

育児教室、サロン、にこりんく等で声掛けを引き続き行う。

*当日スタッフ

区：角谷係長・佐藤・小野・光武・湯浅 他調整中（葛西さん）。

主任児童委員：白水さん・宮崎さん・高橋さん・北野さん・岩田さん、田野井さん

にこりんく：五十嵐さん、古川さん、他1名

雇用助産師：重原さん、吉田さん、計良さん

学校：養護教諭、学級担任、

*流れ・役割（詳細別資料参照。）

主任児童委員さんはクラス付きで2名程度で移動し、全プログラムに参加。

赤ちゃん交流：5グループ（1グループ5～6人）主任児童委員さん、

にこりんく

係長：フリー（全体）

*準備は荷物前日に搬入で調整。

③2校共通

*2月18日（月）主任児童委員定例会開始前に役割や配置最終確認

*地区民生委員さんにも声掛けし、見学兼ねて参加可。スタッフが足りなければ簡単な役割をお願いもあり。

*協力者水分補給のための、お茶（ポット）の準備を学校と相談。

*カメラ⇒当日写真撮影の許可をとる。

*アンケート修正

⇒選択項目を具体的に入れる 「よかった」→「参考になった」等

4 その他

*本郷中学校⇒3月1日（金）2～3校時 エイズ予防講演会あり

5 次回日程⇒3月19日（火） 15時30分～

平成 30 年度 第 6 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 議事録

平成 31 年 3 月 19 日 15:30～

1 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

2 啓発活動について

日時	内容	場所	配布数
6 月 22 日 9 月 14 日	孫育て講座	にこりんく	5 0
6 月 28 日	児童虐待防止連絡会	区役所	3 0
7 月 2 日	上郷東地区 勉強会		1 2
7 月 28 日	本郷中央地区民児協定例会	桂台ケアプラザ	3 2
8 月 10 日	赤ちゃんふれあい体験 (豊田)	豊田ケアプラザ	1 0
8 月 10 日	赤ちゃんふれあい体験 (区役所)	区役所	8
8 月 17 日	赤ちゃんふれあい体験(小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラザ	1 4
8 月 22 日	赤ちゃんふれあい体験 (笠間)	笠間ケアプラザ	1 8
9 月 1 日	ステーションまつり		3 2 5
10 月 27 日	上郷西地区民児協定例会	野七里ケアプラザ	1 6
11 月 3 日	区民祭り	本郷中学校	5 0 0
11 月 5 日～9 日	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	1 0 0
11 月 30 日	小菅ヶ谷地区民児協定例会	本郷台駅前団地	2 5
12 月 1 日	虹のふれあいコンサート	にこりんく	4 0 0
12 月 9 日	本郷第三地区子育て関連分科会	桜井小学校	6 0
12 月 22 日	上郷東地区民児協定例会	庄戸コミュニティハウス	1 9
12 月 22 日	豊田地区民児協定例会	豊田地域ケアプラザ	3 1
12 月 22 日	笠間地区民児協定例会	笠間地域ケアプラザ	1 8
2 月 14 日	虐待講演会	区役所	5 1
2 月 16 日	本郷第三地区民児協定例会	中野地域ケアプラザ	2 0
2 月 16 日	小菅ヶ谷地区	小菅ヶ谷ケアプラザ	1 5
2 月 24 日	本郷中央地区福祉協働フォーラム	朋ホール	3 0

3 いのちの授業について

* 「西本郷中学校」 2 月 2 6 日 (火) AM

・参加親子：申し込み 28 組 ①のみ 4 組 ②のみ 8 組

(笠間 1 0、小菅ヶ谷 6、公田 2、桂町 2、鍛冶ヶ谷 2、長沼 2、長尾台 2、飯島 2)

＊「桂台中学校」3月7日（木）AM

- ・参加親子：申し込み26組 ①のみ8組 ②のみ7組
（中野4、公田4、鍛冶ヶ谷3、桂台西4、上郷2、小菅ヶ谷2、若竹・桂台東・本郷台、
柏陽・庄戸1、不明2）

＊生徒からのアンケートは協力してくれた母に郵送で送る。にこりんくに掲示する。

<振り返り>

- ・養護教諭からも反省があったが、クラスごとに特徴のある子がそれぞれいるため、事前に情報共有ができれば担当するスタッフ決め等で参考ができたため、事前の打ち合わせで生徒情報も共有しておくといよい。また、担当の主任児童委員からも聞いておくと、地域から見た学校の様子がわかるのでよいと思う。（桂台中）
- ・先生が一人で盛り上がっているグループもあった。（桂台中）
- ・男子学生が赤ちゃんを抱っこした際に、少し性的な表現と取れる発言があり母が驚き、困っていた場面があった。（『おしりのムチムチの感触が気持ちいい』等）（桂台中）
- ・交流の時に共通して聞く質問項目を、事前にまとめておくとよかった。（中学生からは質問が出ない）
 - ・交流の際に、初めに自己紹介をした。その際に子どもに自分の体重がわかれば言ってもらった。それがきっかけで話が広がることがあった
 - ⇒複雑な家庭環境や事情のある生徒もいると思われるため学校と事前相談が必要。
- ・母にも事前に話してほしい内容を伝えておいたほうがよい。当日の流れ、どのような授業をしているのか、質問事項・話してほしい内容について地図を送る時に同封するとよいと思われる。
- ・いのちの話の内容が、数の奇跡を強調しすぎであった印象を受けた。
自分のこととして考えられるように、望まない妊娠を避けるという内容をいれてほしかった。
⇒どこまで話すかは学校との打ち合わせが必要。それを踏まえて話の内容を考えても良いのではないかな。
- ・話す人によって内容が違うと言う事がないよう統一するとよい。

★ひろげ隊としての『いのちの授業』の骨子を固めて各学校と話し合う。

どこに重きをおくか、焦点を置くことを何にするか検討が必要である。（性教育、望まない妊娠、命の大切さ、ふれあい体験等）

自分も、周りの人もみんなを大切にするという事は必ず伝えたい。

次回事務局会議：4月に担当が決まった時点で日程調整を行う。

平成 30 年度 第 1 回 高齢者安全対策分科会 議事録

○ 日時

平成 30 年 5 月 10 日 (木) 午後 2 時～3 時 45 分

○ 会場

栄区役所 2 号会議室

○ 出席者 (敬称略・50 音順)

分科会委員

浅間委員、石塚委員、江口委員、加藤委員、兼武委員、今野委員、佐野委員、篠原委員、
関委員、竹谷委員、田崎委員、田中委員、田辺委員、谷委員、塚本委員、中嶋委員、
福田委員、山本委員、湯瀬委員

事務局

角田、市川、足立原、濱

1 あいさつ (座長、事務局角田)

2 自己紹介

3 議事

(1) セーフコミュニティ再認証までのスケジュールについて (資料 1 に沿って説明)

- ・再認証の現地審査、リハーサル等の日時を確認
- ・再認証審査に使用するプレゼンテーション資料の説明・確認、
意見交換 (プレゼンテーションの工夫等について)

(2) 平成 30 年度高齢者安全対策分科会の取組について (資料 2 に沿って説明)

- ・今年度の会議は、分科会 3 回、コアメンバー会議 2 回開催予定。
- ・転倒予防啓発研修会について (支援者向け研修会を開催予定、各団体へ周知依頼)
- ・ヒートショック対策について。11～1 月を取組強化月間として啓発。
ポスター掲示、リーフレット配布の協力依頼
- ・区民まつりで啓発 (11 月 3 日 (土) 開催予定)。ヒートショックの啓発を予定。

(3) 各団体・地域での活動報告・集約について (資料 3 に沿って説明)

- ・各団体・地域で行った啓発は、書式を使用し事務局へ報告

(4) 転倒予防に関するアンケート集計結果報告 (資料 4 に沿って説明)

- ・地域で介護予防に資する活動を継続しているグループに対し、事前および事後アンケートを
実施。アンケート結果について、集計結果および傾向等分析内容の報告

(5) 今年度のスケジュールについて (資料 5 に沿って説明)

- ・今年度スケジュールを一覧で確認

4 意見交換（今後の活動について）

- ・高齢者の寝たきり防止のために転倒予防が重要
- ・転倒予防等の啓発や次の段階として、栄養・食生活の見直しも重要、等

5 その他

- ・次回分科会および再認証審査の確認

以上

平成30年度 第2回 栄区セーフコミュニティ
高齢者安全対策分科会 議事録

- 日時
平成30年9月13日（木）午後2時～4時
- 会場
栄区役所 本館3階 5号会議室
- 出席者（50音順）
浅間委員、石塚委員、江口委員、加藤委員、兼武委員、今野委員、関委員、竹谷委員、
田中委員、中嶋委員、福田委員、山本委員、湯瀬委員
（欠席 佐野委員、篠原委員、田崎委員、田辺委員、谷委員、塚本委員、山崎委員）
事務局：市川、足立原、浜（書記）

1 あいさつ

2 議事

(1) セーフコミュニティ再認証について

SC再認証審査議事録について説明。

- ・ 審査員から転倒予防の取組について、地域の方がリーダーとなり活動を広げていく仕組みづくりは大切であるというコメントがあった。
- ・ 全体講評では、栄区の取組を見て、行政と住民の双方向の力があり継続できているとの感想をいただいた。

(2) ヒートショック対策に関する取組について

- ・ ヒートショック啓発については、11月から1月を取組強化月間として啓発を進めている。
- ・ 今年度も区民まつりで啓発を実施する予定。

(3) 転倒予防に関する取組について

- ・ 8月に開催した転倒予防体操リーダー向け講習会について報告。
- ・ 今後は、2月に支援者育成を目的とした講習会を開催予定。

【意見】

- ・ 地域福祉保健計画と連動すると地域での展開に結びつきやすいと考える。

(4) 転倒予防に関するアンケートの活用について

- ・ 前回分科会で報告したアンケート結果の活用について提案

【意見】

- ・ もう少し字が大きい方が見やすい。
- ・ チェック項目式にすると活用しやすい。

(5) 今年度のスケジュールについて

事務局より説明

3 その他

- ・ 次回分科会は 31 年 2 月 21 日（木） 14 : 00

平成30年度 第3回 栄区セーフコミュニティ
高齢者安全対策分科会 議事録

- 日時
平成31年2月21日（木）午後2時～3時半
- 会場
栄区役所 本館4階 2号会議室
- 出席者（50音順）
浅間委員、石塚委員、加藤委員、兼武委員、佐野委員、竹谷委員、田中委員、谷委員、
福田委員、中嶋委員、湯瀬委員
事務局：市川、足立原、浜（書記）

1 あいさつ

2 議事

(1) 平成30年度高齢者安全対策分科会の取組について

ア 会議等

- ・分科会3回、コアメンバー会議2回開催。
- ・再認証については、6月審査、再認証式典10月。

イ 今年度の取組について

(ア) 高齢者の転倒予防

- ① リーフレットを用いた転倒・転落予防啓発、活用状況について報告
- ② 転倒予防啓発研修会
 - ・ 8月に支援者向けとして2回開催
 - ・ 2月にサロンボランティア対象に開催

(イ) ヒートショック対策

- ① リーフレットを用いた啓発、活用状況について報告
- ② 区民まつりでの啓発について報告

【意見】

- ・ 今年度作成の転倒予防啓発用チラシ紙1枚なので、わかりやすい。いろいろな団体の中で活用してもらいたい。

(ウ) 平成31年度に向けた取組課題について

- ・ 各取組について、今年度の実施結果・課題と次年度に向けた取組(案)を報告。

(2) 平成31年度高齢者安全対策分科会の取組について

ア 会議について

- ・ 次年度は分科会を3回開催予定。

イ 取組について

(ア) 転倒予防について

- ・ 引き続き啓発と出前講座を実施。その中で、啓発用チラシ「転倒予防で健康長寿」の活用をしていただけるよう呼びかけていく。
 - ・ 啓発研修会は、地域で広めていただける支援者の育成を目指し、各地域ケアプラザで転倒予防研修会を開催。
- (イ) ヒートショック対策について
- ・ ポスターはデザイン・サイズの変更も含め検討していきたい。
 - ・ 区民まつりでの啓発、アンケートを行う。

【意見】

- ・ 敬老のつどいでも啓発ができるので活用していきたい
- ・ 身近な地域で楽しんで啓発できる人がいればより啓発の機会が広がると考える。

(3) 高齢者安全対策分科会の体制について

ア 分科会の体制について

- ・ 次年度はコアメンバーを設定せず、分科会を年3回開催する中で対策の検討をしていく。

【意見】

- ・ 分科会活動の基礎ができてきたので、分科会のみで開催で、必要時検討会を開催するの
で良いと思う。

イ 分科会委員の人数について

- ・ 関わりの深い所属の方にお声をかけていきたい。

ウ 座長について

- ・ 座長変更について了承

3 その他

- ・ 次年度の第1回分科会は6月6日（木）開催予定。

次第

- 1 地域防災拠点訓練実施状況について
- 2 セーフコミュニティ再認証に向けて（プレゼン資料確認）
- 3 セーフコミュニティ再認証に向けて（現地審査について）
- 4 今後のスケジュールについて

議事

- 1 地域防災拠点訓練実施状況について

【見上】拠点の訓練については、運営委員に「防災訓練」ではなく「運営訓練」の実施を依頼しておりますので、引き続きご協力をお願いします。

- 2 セーフコミュニティ再認証に向けて（プレゼン資料確認）

【見上】実際には英語版と 2 ついっぺんに表示されますので、日本語を読み上げてから通訳が入るので今回の 2 倍は時間がかかるかと思います。今後調整を進めてまいります。

【武田】地震が起きてないから死傷者 0 というのは当たり前だが、元禄型が来ても 42 人の死亡想定を減らすことができるだろうか。

→見上：家具の転倒予防の PR を進めていき、0 に近づけていきたいと考えます。

- 3 セーフコミュニティ再認証に向けて（現地審査について）

質問なし

- 4 今後のスケジュールについて

【見上】明日のリハーサルについては毛利副座長に行っていただきますが、お時間ある方は是非ご見学ください。

※ 立ち話にて

磯崎会長、九十九澤課長から、訓練参加者が先生を拍手でお迎えしてあげないのか。

との話があり、九十九澤課長の仕切りでお迎えする運びになった。

次第

- 1 セーフコミュニティ現地審査を受けて
- 2 今後の取組みについて
- 3 その他

議事

- 1 セーフコミュニティ現地審査を受けて
質問なし

- 2 今後の取組みについて

【加藤】いつき避難所に来られない人もいる。ごみ集積所であれば皆知っているのです。そういったところを活用していきたい。

【武田】自助について、栄区に昔から居る人や新しく来た人も含めて進めていくのは大変なことだが、どのように進められるか注視したい。

【消防団・加藤】拠点の訓練に参加すると、肝心なことが引き継がれていないことが気になる。自助・共助についてももう少し真剣みを持ってやっていただければと思う。

【小石】三陸方面に久しぶりに行ったが、年月が経ち、行政の指定した避難所が本当に正しいかが浮き彫りになってきた。いざ災害が起きると難しいだろうが、訓練でブロックごとに避難所を分けるなど検討し、被害を最小限にしていきたい。現実的に要援護者をどのように救助していくかは今後の課題だと思う。

【角田】予防協会では事業所の会員の集まりだが、AED 等を予算で購入している。企業はそれぞれの経済活動をしているため、単純に一つにまとめられないが、連携をどのように進めていくのが良いか検討していきたい。また、区内の集合住宅の減災についてどのように向かっていくのかも気になっている。

【毛利】水害を一番懸念している。先日の会合では、なぜ海拔の表示がないのか地域からも声が挙がっている。また、発災時に外国語対応できる人がどれだけいるのか、外国人はどれぐらいいるのかという質問も挙がった。要援護者の割合は 6%ほどいるが、災害時にどのように対応していくのが課題だが、来月の訓練で取り上げていきたい。

【本郷小・坂本】拠点と学区の区割りがまたがっているので整理をお願いしたい。防災について見ていると、避難所として機能しているか疑問に感じる。防災のリーダーは町内会長などが就くべきだが、豊田の地区との温度差を感じる。学校でできることはできる限りアクションを起こしていきたい。

【見上】今後の取組について、ハンソン先生の意見も汲み入れて方針を考えた。感震ブレイカーの普及など、数字に見られるものも取り上げ自助を進めていきたい。また、水害について、ハザードマップの更新など対応していきたい。

拠点の区割りと学区については調整の結果、本郷小に歪みが生じてしまっている。本郷小の区割りを見直すと他の区割りに影響を及ぼすので慎重に検討したい。

【消防団・加藤】角田さんも言っていたが、現メンバーは豊田地区ばかりなので本当にこれで良いのだろうか。また、要援護者について、おそらく上郷方面の古い団地に多いのではないだろうか。普段からそういった情報が共有できるよう、役員の構成も考えていけたらよい。

【見上】今のメンバーはそれぞれ代表を集めたら、たまたま地域が重なってしまった。来年は入れ替えがあるかもしれない。

【磯崎】自治会長は 3 年ごとに代わったり入れ替わりがあるが、拠点の委員長はできたら長く続けてほしい。

3 その他

【岩崎】要援護者支援の講演会を開催するので是非ご参加ください。

【九十九澤】毎月 15 日が市民防災の日となっているが、近年では弱体化しているので、またこの取り組みを強めていきたい。

【見上】要援護者支援について、栄区は全市的にも遅れを取っているので活動を強めていきたい。

平成 30 年度栄区セーフコミュニティ 第 1 回自殺予防対策分科会 議事録

日時：平成 30 年 9 月 6 日(木)10 時 30 分～12 時 00 分

場所：栄区役所新館 1 階 101 号会議室

出席者委員 牛尾委員・小田原委員・岡里委員・庄司委員・田中委員・本田委員・松吉委員・山崎委員

欠席委員 臼井委員・江口委員・猿山委員・二宮委員

出席オブザーバー 土井原氏・吉田氏・岩垂氏・小出氏

事務局 前田（福祉保健センター長）・小泉（福祉保健センター担当部長）・林（福祉保健課長）・角田（高齢・障害支援課長）・中村（生活支援課長）・岩崎（事業企画担当係長）・小出（障害者支援担当係長）・担当職員 5 名

1	開会
	・資料の確認、委員紹介
2	報告（1）再認証現地審査について<資料 1 >
	・後ほど、目を通していただき、何かあれば事務局へお問い合わせを
2	報告（2）平成 29 年度栄区の自殺予防対策の取組について<資料 2 >
	・資料 2 の体系図について。自殺者数の減少に向け、課題を大きく 3 つたて、課題に対する取組を考えている。この取組をすれば、減少するのではないかという仮説に基づき取組み、検証する PDCA サイクルで進めている。 ・仮説がどうか、指標の設定がどうか、指標を変えたらどうか、などもご意見いただきながら検証し、見直ししていきたい。 ・広報よこはま 9 月号に、セーフコミュニティの特集記事が組まれており、PDCA サイクルについても書かれているので、ご覧いただきたい。
2	報告（2）平成 29 年度栄区の自殺予防対策の取組について<資料 3 >
	・今回のプレゼンをするのは誰か。 ・事前指導のときと同様に、小田原先生、田中伸一委員にお願いしたい。 ・委員のみなさま、ぜひ、いらしていただきたい。
3	議題（1）平成 30 年度栄区の自殺予防対策の取組について<資料 4 >
	・ゲートキーパーの養成研修について、区職員が中心になっているようだが、企業も大きいと会社で行えるが、中小企業だと難しい。そういったところにアナウンス周知が行き届いているのか。 ・広く地域の方にむけてということでは、研修というより講演会という形で関係するテーマを題材に行い、知識と理解の啓発行っている。 ・研修という形では、区職員だけでなく昨年度は、保健活動推進員向けに研修を行った。 ・実数としては高齢者の死亡者が多いが、死因からみると若年者層、また、産後うつの方などが見えてくる。子ども支援や若年者支援の方への研修など、幅広く、また戦略的な介入もしていける周知も必要だと思うので、検討いただきたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の方もずっと同じのため、学びの幅を広げるためにも新しい講師の先生を探すのも必要ではないか。 ・デリケートな問題なので、講師を務められる先生にも限りはあるかと思うが、ずっと同じ先生というのは功罪もある。 ・「こんな先生はどうか」などあれば、ぜひ、教えていただきたい。
<p>3 議題（2）自殺ハイリスク者支援対策検討部会より<資料5></p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・救急外来に置き、入院に至らず帰られる方に配るようにしている。全員に聞き取りできていないが、確実に1件お渡ししたことを把握している。 ・退院調整課に置き、入院された方にも渡せるように検討している。 ・相談窓口もあり、そこにも置けるよう委員会の中で話し合っている。 ・医療安全委員会で話せば、病院全体でも取り組めるようになるかと思う。まずは、体系にもあるように「取組①の自殺に理解、関心をもつ」から始めたい。 ・生活支援センターでは、誰が未遂者かわからないということ、また、ハイリスク者が生活支援センターまで来て相談するのは考えづらく、電話でお話となる場合が多いため、窓口で説明しながらお渡しするという場面がなかなかない。 ・ハイリスク者向けということではあるが、中身をみると必ずしもハイリスク者にしか配ってはいけないものではない気がする。 ・青いパンフレットは、リスク者向けとはいえ広く使えるようにしている。配架してどなたでも取れるようにする形でもよい。 ・白いリーフレットもどなたでも手に取っていただいでかまわない。情報、内容をしぼりこんで、余裕がない方に届けたい情報に限っている。 ・学内でもカードをトイレに置いていたりする。堂々とあると取りにくい、開かれたところでは取りづらいので、ちょっと見えづらいところに置くなど工夫している。 ・渡す側が対象を選別するのが難しいので、置く場所を工夫すること。 ・青いパンフレットは、配架する形とお渡しする形、両方の場面を想定している。一緒に読んで書き込んでみるという使い方ができる。 ・疲れているときにも読める分量で、色づかいもいい。印刷部数は何部か。 ・印刷は 3,500 部 ・リーフレット、カード、パンフレットができ、リスク者の検討部会としてひとつの成果をおさめたため、検討部会は閉じ、今後の活用は分科会で検討いただきたい。 ・若年層や、産後うつなど、よりリスクのある方に向けて届ける方策を考えていく必要がある。 ・栄区の自殺対策の取組として、委員のみなさまもお考えのことがあれば教えていただきたい。
<p>4 その他（1）再認証式典の開催について<招待状></p>	
	<p>（招待状のお渡しと出席のお願い）</p>
<p>4 その他（2）セーフコミュニティアンケートの実施について（資料なし）</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・2年に一度実施しており、前回は 28 年度、今年度実施する年となっている。

	<ul style="list-style-type: none">・ 20 歳以上の区民 1,500 人を対象に 11 月～112 月に行う。・ アンケート内容は区政推進課でとりまとめているが、自殺予防対策に関する項目もあるので、結果がでたらお知らせする。
4	その他 (3) 横浜市自殺対策計画 (仮称) について<資料 6 >
	<ul style="list-style-type: none">・ 平成 15 年のピークからすると、自殺者数が 2 / 3 に減少している中で、10 年後に 30% 減についてはいろいろな意見もある。川崎市は独自の削減目標を出すようだが、横浜市は国に準じるのか。・ 横浜市でも議論になったが、1 日 1 人以上の方が亡くなっている計算で、引き続き減少を目指そうということで国に準じる数値にした。・ 特徴を踏まえて、とあるが、具体的には現時点でどのようなことを考えているのか。・ 若年者への拡充としては、小中学校への出前講座の拡充などを考えている。・ 素案も 11 月に公表されるので、ぜひご覧いただきたい。・ セーフコミュニティの取組についても、横浜市の方向性との整合性も必要。数字等も参考にし、今後も情報交換していきたい。
4	その他 (4) 横浜市からの情報提供
	記者発表資料、特別相談会、講座の案内
閉会	
	以上をもちまして、今年度第 1 回の自殺予防対策分科会を終了します。

平成 30 年度栄区セーフコミュニティ 第 2 回自殺予防対策分科会 議事録

日時：平成 31 年 3 月 11 日(月)10 時 30 分～12 時 00 分

場所：栄区役所新館 4 階 8 号会議室

出席者委員 牛尾委員・小田原委員・庄司委員・松吉委員・山崎委員

欠席委員 臼井委員・江口委員・小川委員・猿山委員・庄司委員・田中委員・二宮委員・
本田委員

出席オブザーバー 土井原氏・吉田氏・岩田氏・小出氏

事務局 前田（福祉保健センター長）・小泉（福祉保健センター担当部長）・林（福祉保健
課長）・角田（高齢・障害支援課長）・中村（生活支援課長）・岩崎（事業企画担当
係長）・小出（障害者支援担当係長）・担当職員 4 名

開会	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・再認証にあたり事務局、座長よりごあいさつ ・(資料確認)
1 平成 30 年度栄区の自殺予防対策の取組について<資料 1 >	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・院内関係部署と共有し話し合いをしている状況。次年度以降に活発に配付できると思う。 ・生活支援センターの受付の窓口に置いている。センターにいらっしゃる方は元々何かあってきているので、相談できる窓口などは知っていると思われる。青い方は病院の相談などについても記載があり、職員が青いパンフレットを使って、実際に書いて「先生に相談してみて」と本人に伝えるのに使っている。
2 横浜市自殺対策計画（仮）について<資料 2・3 >	
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・重点施策の特徴 3 若年対策ということで、こどもの SOS サインについて、児童虐待の対策の中で反映していることなどあるか。 ・若年者対策については、50 ページで触れている。若年者対策は色々なところに関係し、市の計画では、特に特徴的なところをとらえて記載。 ・虐待の関係ではチャイルドラインというような電話相談などもあり、55 ページ以降の関連施策一覧の 59 ページにも記載。 ・いじめ対策は比較的短期間に結果に反映しやすいかもしれないが、幼少期の被虐待が、後々の精神障害の発症や自殺企図につながることは明らか。その意味で長期的なプリベンション（予防）というところでは、対応も必要だと感じる。
3 地域自殺実態プロファイルについて<資料 4・5 >	
	(質問、意見なし)
4 平成 31 年度 自殺予防対策に関する取組スケジュール（案）<資料 6 >	
	(質問、意見なし)

5 その他	
事務局	(新しくなったセーフコミュニティのリーフレット紹介)
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・実態プロフィールの重点パッケージ以外にも、たとえば 20 歳代の女性は、市に比べて高い自殺率になっている。分科会の取組として取組 3 リスク者支援として何か具体的なこの年齢、性別に対して取り組むことはできるか。 ・例えば、研修で、この年齢層に伝えるなど。 ・区役所との接点が薄い年代で難しい部分もある。 ・表面的には接点がない方に、発信していける場や、方策があるといい。 ・支援ネットワークでは事例を通じて考えており、その事例としてその年代を考えることもできる。 ・支援ネットワーク会議の方に、プロフィールは提供されているのか。 ・プロフィールとしては提供していないが、市全体の状況は伝えている。 ・公表していい資料は、提供した方がいいかもしれない。
吉田氏	<p>・私のような長く相談しているものにはラインやメールを使う相談は、あまりすぐわないと思っているのですけれど、相談に従事している仲間でも若い人たちは、メールが得意という人もいます。</p> <p>中には得意な人もいるので、そういう人たちの力を借りるといいですか、また、相談に来られる方にもメールの方がいいという方もいらっしゃると思いますので、メールもありなのだと思います。</p> <p>今、なかなか外出ができない方の生活訓練を始めたのですが、その中で利用者同士がラインやメールで相談し合っている現状があります。ライン、メールはすれ違う時もあり、それで悩んでしまったりするので、そこも職員がカバーしています。いいところもあるけれど、カバーするところが必要だなと思いました。</p>
座長	<p>ありがとうございます。重要なお指摘だと思います。</p> <p>基本的には face to face で本人の悩みを聞くということが目標だと思うのですが、ただ、接点を広げるという意味で、SNS などインターネットは重要な役割を果たしますが、それを通じて対面にもっていくというのが望ましい姿だろうとは思いますが。市のメールや SNS を活用した事業というのは来年度から始めるのでしょうか。</p>
健康福祉局	<p>構築を来年度 31 年度から始めるのですが、今、お話ありましたように、インターネットというのは入口のツールでしかないかなというように考えています。これから仕組みを構築していきますので、みなさまのご意見もいただきながらになりますが、相談ツール、情報を考えていく中で、最終的には対面にもっていきたいという話はしています。そうでないと、途切れてしまったときに、その方がどうなったか、まったく見えなくなってしまうので、方向性としては対面と考えています。</p> <p>もうひとつ、できるだけ、その人にすぐに情報をお届けできるようにインタ</p>

	ーネットを活用したいと考えているところです。
閉会	
座長	ありがとうございます。そのほかご意見よろしいでしょうか。 以上をもちまして、今年度第 2 回の自殺予防対策分科会を終了します。

平成30年度 第1回 防犯対策分科会会議録

日 時	平成30年5月28日(月)午後2時00分から
開催場所	栄区役所本館4階1号会議室
出席者	委員：保坂、岡田、折田、西川、吉野、岡里(敬称略) 事務局：早乙女、石塚、樋下田
議 事	<p>1 平成30年度栄区セーフコミュニティ現地審査当日の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座長から、現地審査が平成30年6月15日～6月17日の三日間で行われ、当分科会は6月17日の14時から発表するなど、当日の流れの概要について説明があり、確認した。服装については、平服や活動時着用しているもので来ることで一致した。 ・事務局から、発表のレイアウトや方法について、昨年度行った事前指導と同じということで説明があり、確認をした。また、そのほかの分科会も発表があるので、関心があるものがあつたらぜひ参加してほしいと紹介があつた。17日(日)の「講評」は、第2回セーフコミュニティ推進会議を兼ねていることの説明があり、確認した。 <p>2 当日の発表資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から、当日発表に使用されるパワーポイント資料について説明があつた。変更・追加箇所は、「スライド2分科会の構成」・「スライド13 取組み概要」・「スライド19 被害者へのアンケートの検討」だと説明があつた。栄警察署からは、スライド19について、被害届が提出された際に、区役所からの手紙として、その封筒の中にアンケートや相談窓口の案内の紙が入つたものを渡すなどの案が考えられると説明があり、今後事務局と協議していくことで意見が一致した。 ・委員から、被害にあつた方が、アンケートに回答できる状態にあるのか心配する意見も上がったが、事務局からそういった心のケアについても支援するためのアンケートであると説明があつた。 <p>3 振り込め詐欺に関するアンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から、前回の防犯対策分科会で議題にあつたアンケートについて、翠風荘や区内ケアプラザで、2月から3月の間にアンケートを実施したことと、その結果について説明があつた。 ・アンケート結果で、架空請求を知らない人が半数以上もいることが残念という意見があつたが、事例等が書いてあれば、もしかしたら知っている人の割合が増えたのではという意見もあつた。 ・委員から、振り込め詐欺対策として留守番電話にしているが約半数もいることに、今までの啓発の成果がでていくという意見があつた。栄警察署からも、高齢者に声掛けをすると「留守番電話に設定する方法を知らない」という声があるので、啓発で自宅に訪問した時は、自宅に上がらせてもらって、留守番設定をしているとのことだった。

	<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員から、これだけメディアで振り込め詐欺について取り上げているにもかかわらず、被害件数・被害額が増加してしまっていることは、とても残念であり、当事者意識がないことが原因の一つではないかという意見があった。 ・栄警察署から、あくまでも認知された件数・金額であり、数字からは見えてこない被害者がいる。家族やご近所に知られてしまうことが恥ずかしいということが原因となっており、金銭面以外の被害が振り込め詐欺にあるので、今後の対策が必要だという意見があり、今後当分科会でも考えていくことで一致した。 ・座長から、再認証に向けて当日は委員全員で乗り切ることを確認した。
<p>資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度栄区セーフコミュニティ現地審査当日の流れについて（通知） 2 当日発表用パワーポイント資料 3 振り込め詐欺に関するアンケート結果

平成30年度 第2回 防犯対策分科会会議録

日 時	平成30年10月16日(火) 午後2時00分から
開催場所	栄区役所新館4階7号会議室
出席者	委員：持田、岡田、折田、西川、吉野、岡里(敬称略) 事務局：早乙女、石塚、樋下田
議 事	<p>1 平成30年度栄区セーフコミュニティ再認証式典について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局から、分科会の皆様のお力により、無事10月6日(土)に行われた式典で、正式に再認証されたことの説明があり、委員の方に感謝状をお渡しした。 座長から、今回の分科会から新座長として、再認証を取得した今後5年間の防犯対策を各団体の皆様と協力して進めていきたいと挨拶があった。 <p>2 各団体における取組みの報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度の各団体の取組みについて、発表・説明を行った。 事務局からは、今年度11月3日(土)に行われる栄区民まつりで、防犯ブースを出展し、栄警察・栄防犯指導員連絡協議会・フレンズ☆SAKAEの小中学生と協力して啓発を行うと説明があった。また、防犯情報メールを使つての注意喚起や、防犯灯の不具合連絡、今年度新たに作成した防犯パトロール用名札・防犯カメラシール・振り込め詐欺用ポップアップシールについて説明があった。なお、地域への協力として防犯グッズを貸与し、その数についても説明があった。 栄警察署からは、今年度から地域で活動している健康づくりのクラブへの講話や、駅前イベントで音楽隊を呼び、演奏の合間等で振り込め詐欺防止の呼びかけを行ったと説明があった。また、10月15日に本郷台駅前幼稚園生に警察官の制服を着てもらい、啓発物品を配布してもらうことで、多くの方が受け取ってくれ、とても好評だったと説明があった。今年度の栄区民まつりでは、区や各団体と協力してやっていきたいと説明があった。 栄区消費生活推進員の会からは、毎年行っている啓発の他に、今年度は民生員と協力して戸別訪問の際に、消費生活推進員だよりを渡してもらうなどの新たな取組みを行う予定だと説明があった。引き続き地域への出前講座や回覧板を使った啓発を行っていき、より多くの方に情報が届くように活動していきたいと説明があった。 栄防犯協会からは、今年の6月に会長が変更になり、活動計画を検討していると説明があった。協会として、防犯灯の不具合の見回りはもちろんのこと、地域で行っている防犯パトロールの横のつながりを作っていきたいと考えていると説明があった。 栄区シニアクラブ連合会からは、今月行われたシニア大学というイベントで振り込め詐欺について啓発を行ったと説明があった。 栄区保護司会からは、直接振り込め詐欺対策ではないが、再犯防止として啓発を行っていることと、今後の活動継続のため、会員数増のために活動していると説明があった。 <p>3 被害者向けの振り込め詐欺に関するアンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局から、6月17日(日)に行われた現地審査の資料で、被害者向けのアンケート実地を審査委員に説明したことを受け、アンケート案を作成したので内容の審議を行ってほしいと説明があった。また、配布方法については、栄警察署にご協力していただき、被害者に直接渡してもらうことになっていると説明があり、事務局案で実施することで一致した。

	<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年の上四半期は、栄区の振り込め詐欺の被害件数も少なく安心していましたが、ここ最近増えている。新しい啓発方法も考える必要があると意見があった。その意見について、先日行った駅前のイベントで、幼稚園生が警察官の制服を着て啓発をしてくれたが、それはとても効果的で、お年寄りだけでなく、若い世代の人も啓発物品を受け取ってくれたとのことだった。 ・この分科会がきっかけで、団体ごとに繋がりができ、講演やサロンなどで交流ができていると報告があった。他の団体からも依頼があれば出前講座やサロン等を行うとのことだった。 ・事務局から補足として、栄区内で申請している防犯カメラの設置補助申請について、今年度は3自治会町内会計6台の申請があったが、3台が補助対象になりそうだと説明があり、情報共有した。
<p>資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度 防犯対策分科会事務局（地域振興課）における取組 2 アンケート用紙（案） 3 町別の街頭犯罪等認知件数（平成28・29年分と平成30年8月末現在暫定値）

平成30年度 第3回 防犯対策分科会会議録	
日 時	平成31年2月13日(水) 午後2時00分から
開催場所	栄区役所新館4階7号会議室
出席者	委員：持田、岡田、折田、吉野、岡里(敬称略) 事務局：早乙女、石塚、樋下田
議 事	<p>1 各団体における取組みの報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の各団体の取組みと、来年度に向けての活動予定について報告・説明を行った。 ・事務局からは、11月3日(土)に開催された栄区民まつりで、防犯ブースを出展し、栄警察署・防犯指導員・小中学生と連携して、啓発を行ったと報告があった。また、防犯メールを使った注意喚起や防犯灯の不具合連絡、前回の分科会以降に作成したのぼり旗や、区内新小学校一年生に配布する防犯ブザーについて報告・説明があった。 ・栄区保護司会からは、活動メンバーの定員が20人のところ、現在16人に減ってしまっていたが、区連合町内会等で募集をかけ、18人まで増えること。栄区内で保護観察対象者が多い時に比べて半減していると報告があった。 ・栄区防犯指導員連絡協議会からは、毎月10日のパトロール、偶数月の金融機関での特殊詐欺被害防止啓発や、自治会や団体から依頼を受けて、講座・演劇を行ったと説明があった。また、来年度については、交通安全のイベントと連携して、駅前等でキャンペーンができたかと考えていると説明があった。 ・座長からは、初心にもどり、まずセーフコミュニティとは何かを考え、どうやったら地域・区民の方が、連携して活動できるのか考える必要があると発言があった。 ・栄区消費生活推進員の会から、今年度新たに民生委員と協力して、高齢者宅訪問時に詐欺の注意喚起を行っているが、訪問時に話題になるので喜ばれていること。代表が今年の3月で変わってしまうので、今まで築き上げた地域や団体との関係についても引き継ぎたいと説明があった。 ・栄警察署からは、今年度立て続けにキャッシュカード型の詐欺が発生している。電話をするかけ子、お金を受け取る受子、ATMからお金を出す出し子、これらの行動パターンから、区役所が行っている防犯メールで、前兆電話についての速報を入れるようにすることや、今後防犯指導員と協力して前兆電話があったところを青パトロールできたらなど、新しい取り組みを行ってきたいと説明があった。 <p>2 被害者向けの振り込め詐欺に関するアンケート結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から、本審査の指摘を受けて昨年12月から行っている被害者向けアンケート結果について説明があった。 <p>3 振り込め詐欺に関するアンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から今年度も引き続き、翠風荘においてアンケートの実施を行う旨の説明があり、了承された。 <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄警察署より平成30年、1年間における犯罪発生状況について説明がなされた。車両の器物損壊や車上狙いが増えている状況について説明があった。
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度 防犯対策分科会事務局における取組 2 アンケート用紙・結果 3 振り込め詐欺に関するアンケート 4 栄区連合町内会配布資料 栄区内の刑法犯認知件数(暫定値)

平成30年度 第1回 栄区傷害サーベイランス分科会 議事要旨

日時	平成30年4月5日(木) 15時00分～16時00分
場所	栄区役所新館4階 7号会議室
出席者	【傷害サーベイランス分科会委員】 田高座長(横浜市立大学)、小田原委員(横浜市立大学)、豊田委員(聖徳大学)、 垣内委員(東海大学)、木村委員(健康福祉局)、近藤委員(栄警察署)、 岡里委員(栄警察署)、平間委員(栄警察署)、前田福祉保健センター長 【傷害サーベイランス分科会事務局】 雨堤区政推進課長、高橋企画調整係長、地主地域力推進担当係長、臺丸、石田 【栄区役所】 見上副区長、小泉福祉保健センター担当部長

1 開会

<副区長挨拶要旨>

今回、区長が欠席となったことについて、大変申し訳ない。まず、委員の皆さまには、1月の傷害サーベイランス分科会以降、それぞれ資料作成の相談に応じていただき、御礼申し上げたい。皆さまのご協力によって、現地審査で発表する予定の各分科会のプレゼンテーション資料案が完成したので、本日はその資料についてご確認いただければと思う。また、今回は、6月に迫った現地審査のスケジュールや今年度のスケジュール、現地審査の前に審査員に提出する申請書についてもご確認いただきたい。具体的な内容については、後程事務局から説明する。今年は再認証を迎える年となるので、何卒ご協力の程、よろしく申し上げます。

2 議事

(1) セーフコミュニティ現地審査について

資料に沿って事務局から説明

<傷害サーベイランス分科会委員からの意見要旨>

○田高委員

- ・プレゼンテーション資料の修正期限はいつか。

(見上副区長)

- ・大きな修正はできればもう行いたくない。細かい修正はまだすることができる。

(高橋係長)

- ・再来週くらいに翻訳に出したいので、それまでは修正をすることができる。

○田高委員

- ・欠席の委員もいるので、そのあたりは明確にしてほしい。今出席している委員については、何かあればできるだけこの場で指摘したほうが良い。

- ・ 傷害サーベイランス分科会の資料で、13 枚目～14 枚目のあたりは経年変化を見るという意味でデータを掲載する意味があると思うが、10 枚目～11 枚目のあたりは直近 10 年間のデータをまとめる意味があるのか。

(高橋係長)

- ・ 栄区の現状を示すという意味で直近 10 年間のデータをまとめている。

○田高委員

- ・ 認証前と認証後に分けて示すことには意味があると思うが、10 年分のデータを足し上げて示す意味があまり感じられない。

○小田原委員

- ・ 資料を作成する上で、こういった出し方をするルールになっているのか。

(見上副区長)

- ・ 当初認証を受けた時は、単年度だとデータが少ないため、足し上げた形で出したので、それを踏襲している。

(雨堤課長)

- ・ 現在委員の方から出た意見を持ち帰り、再度資料の内容について検討したい。

○田高委員

- ・ 傷害サーベイランス分科会の資料の 3 枚目については、審査員からの指摘があって修正したということだが、審査員はどのような意図で指摘をしたのか。ある程度委員の専門性が分かった方が良いのではないか。

○垣内委員

- ・ 傷害サーベイランス分科会の資料の 10 枚目～11 枚目のデータについては、セーフコミュニティ認証前と認証後のデータを分けると、事故件数が減っていないかも知れない。

(2) 平成 30 年度 栄区セーフコミュニティ年間スケジュールについて

資料に沿って事務局から説明

< 傷害サーベイランス分科会委員からの意見要旨 >

- ・ 特になし

平成 30 年度 第 2 回 栄区傷害サーベイランス分科会 議事要旨

日 時	平成 31 年 3 月 4 日 (月) 10 時 30 分～11 時 15 分
場 所	栄区役所新館 4 階 7 号会議室
出席者	【傷害サーベイランス分科会委員】 田高座長 (横浜市立大学)、小田原委員 (横浜市立大学)、豊田委員 (聖徳大学)、 近藤委員 (栄警察署)、小川委員 (栄警察署)、前田福祉保健センター長 【傷害サーベイランス分科会事務局】 雨堤区政推進課長、高橋企画調整係長、地主地域力推進担当係長、臺丸 【栄区役所】 小山内区長、見上副区長、小泉福祉保健センター担当部長

1 開会

< 区長挨拶要旨 >

昨年は記念すべき再認証取得の年だった。セーフコミュニティの取組を通じて地域に一体感が生まれ、関係機関も地域課題を一緒に解決しようと協力してくれている。本日は現地審査及び再認証式典の報告のほか、先日実施したセーフコミュニティアンケートの結果や、来年度の方針について事務局より説明する。当分科会は、データに基づき事業を着実に進めるための重要な分科会なので、委員の皆様には引き続きご協力をお願いしたい。

< 委員の交代について >

(雨堤課長)

- ・県警の人事異動に伴い、栄警察署生活安全課長の岡里委員から小川委員に交代したので報告する。

2 議事

(1) セーフコミュニティ現地審査及び再認証式典の報告

資料 1・2 に沿って事務局から説明

< 傷害サーベイランス分科会委員からの意見要旨 >

- ・特になし

(2) 平成 30 年度 栄区セーフコミュニティアンケートについて

資料 3・4 に沿って事務局から説明

< 傷害サーベイランス分科会委員からの意見要旨 >

○田高委員

- ・アンケート結果は各分科会に報告済みか。

(高橋係長)

- ・集計を完了したのが最近なので今後報告する。

○田高委員

- ・この結果を各分科会の取組に活かしてほしい。

○豊田委員

- ・セーフコミュニティの認知度が前回調査より下がっているが、前回調査時より栄区への人口の流入が多かったまたは回答者の属性が変わった等、回答に影響するような要因があったか。

(高橋係長)

- ・回答者の属性に関して、前回調査から大きな変化は見られなかった。

○豊田委員

- ・セーフコミュニティのような取組は広く周知することが最も重要である。アンケートの設問を工夫して、どの属性にどう広がっているか分かれば、今後の広報の方針を立てやすい。

- ・前回と今回の調査の両方に回答している者がいるか。

(高橋係長)

- ・対象は無作為抽出されているため可能性はある。

○豊田委員

- ・それまでセーフコミュニティを知らなかった人に広がるのが肝要である。それが調査により見える形で示されれば良い。今後の課題として検討してほしい。

○小田原委員

- ・自殺予防に関する設問が多いがその理由は。

(高橋係長)

- ・調査する設問は各分科会に照会し、全体のバランスを考慮しながら決定しているが、自殺予防に関する設問は、自殺予防対策分科会から挙げられたものを採用している。

○小田原委員

- ・調査結果から得られた課題は、今後の分科会のプランに盛り込む必要があるが、中には多数の区民に広く知らせることが困難な分野の取組もある。設問は細部を問うようなものより、セーフコミュニティを通じ区民にこれだけは知ってほしいと思う項目に凝縮した方が意義があると考ええる。

(雨堤課長)

- ・次回調査の際、検討課題としたい。

○田高委員

- ・セーフコミュニティを知った契機は「広報よこはま」という回答が最多だったが、このような行政のアンケートに回答し、広報を読んでいる層は、自ら傷害予防に関する情報を収集し行動できる人が多いと考えられるが、そうではない層の方が傷害リスクが高い可能性は十分に想定される。厚生労働省が行う研究の一環として、他区で認知症リスクに関する調査を実施したが、認知症予防に関する普及啓発活動に触れる機会が少ないまたは接触しても認識がない人ほど認知症リスクが高いという結果であった。一方、そういった人たちは信頼できる相手からの口コミにより情報を得ていることが多かった。広報誌による周知活動は引き続き行うべきだと考えるが、同時に各分科会から、リスクが高い及び情報にアクセスしづらい層にどうアプローチするかアイデアをもらうべきである。従来と同じ方法では認知度の向上は難しい。

(3) 平成 31 年度の進め方について (案)

資料 5 に沿って事務局から説明

< 傷害サーベイランス分科会委員からの意見要旨 >

○田高委員

- ・各分科会で方針を検討するにあたり、前述のアンケート結果を参考にするか。

(雨堤課長)

- ・参考にする。本日いただいたご意見も踏まえ、検討していく。

○田高委員

- ・個別に相談していただく際には、相談内容を具体的に示していただくと有難い。

3 事務連絡

(地主係長)

- ・傷害サーベイランス分科会の任期は 2 年であるため、満了を迎える方については、引き続き委員に就任していただけるよう依頼状をお送りするのでご承知おきいただきたい。

(雨堤課長)

- ・本日配布したリーフレットは 2 月に改訂したもので、今後広く配布していくのでご承知おきいただきたい。

4 閉会

< 副区長挨拶要旨 >

30 年度に再認証を取得し、31 年度は 5 年後の認証取得に向けた最初の年となる。対策分科会の中心を担っているのは傷害サーベイランス分科会である。委員の先生方と一緒にこれからも取り組んでいきたいので、引き続きよろしくお願ひしたい。